

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

## 目次

- ☆移転問題・活動報告・・・2
- ☆夕会便り・寄付のお礼・・・3
- ☆クラブ活動報告  
☆歌と踊りの集いの告知・・・4
- ☆ボランティア募集  
☆風〇〇サスペンス劇場（田中新連載）  
・・・5
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）  
第59回「緊急地震速報チャイム」  
・・・6
- ☆虫めがね～今一番買いたいもの～  
☆恵司のつぶやき・・・7
- ☆メンバーのつぶやき・・・8



2017年  
5月号



# 高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について

## 新カナルサイド高浜へ

港区ではカナルサイド高浜の移転、建替えの検討が進んでいます。平成29年4月の基本構想・基本計画策定をスタートとし、平成32年から35年にかけての建築工事が予定されています。この基本構想に新規施設の概要があり、その中に障害福祉サービス事業所への提供スペースが盛り込まれています。具体的には、風の子会へ普通財産として貸し付ける、ということです。

現在風の子会は、カナルサイド高浜取り壊しに伴う転居に向け、港区の支援を受けながら、諸手続きを進めていますが、5-6年後、新カナルサイド高浜完成後、現在と同じ条件、環境で事業運営できるということです。

風の子会は、長期的に、安定して事業運営できる環境を得ることができます。同時に大きなやりがいと、おおきな責任を伴う物です。

転居課題プロジェクト：小野塚

# 活動報告

3月はとりあえず昔の社員も帰って少しずつ活気がでてきた  
これからはますますリハビリ頑張っていきたい  
これから春が来るように……。

森 杉



毎日大変だけど…  
少しずつ頑張っていこう！



# 夕会便り

3月25日クラブ活動について話し合いが行われました。  
今までクラブ活動を休止していたが、改めて今後それぞれが何の  
クラブ活動 を行いたいのかを話し合いその結果、自分はこれが  
やりたいあれがやりたいと今後の方針を固めた上でクラブ活動が  
再開することが決定した。



秋葉 博  
(担当者休みの為、代筆さ  
せて頂きました。)

## 寄付のお礼

～賛助会・寄付にご賛同して下さいの方～

小野塚 航 様、 田中 あけみ 様、 園部 裕千 様  
波多野 栄子 様、 羽鳥 貞子 様、 渡辺 三恵子 様

# クラブ活動報告

風の子会でクラブ活動がありました。私と森さんは声を出すクラブです。春が来たと雨を歌いました。大きな声が出ました。後半は編み物クラブです。ボランティアの諏訪さんと編み物をしました。私は金の棒を持って布を金の棒にひっかけました。ゲームクラブに田中先輩とかげはしさんが入りました。楽しく麻雀をやりました。盛り上がりました。太田さんも笑ってました。料理クラブはどら焼きと杏仁豆腐を作りました。フールクラブは港区スポーツセンターに行きました。野田さんと三木さんは大きなフールに入りました。皆さんがクラブ活動を楽しんでました。ボランティアさんに田中あけみさんが来ました。料理クラブを手伝ってくれました。



柳川 敬事



## ☆歌と踊りの集い☆



今年も歌と踊りの季節がやってまいりました。今回風の子では、原点回帰ということで歌を行う予定です。つきましてはお手伝いをして下さるボランティアさんを募集しています。

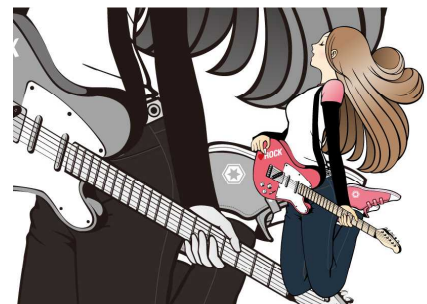
日程は7/1(土)12:45~16:30まで、場所は港区麻布区民センターとなります！基本的に5月半ばあたりからの水曜・土曜が練習日となります。

詳細は☎03-3474-9674)へお問い合わせ下さい。

！  
皆さん、お待ちしております。



風の子会一同



# ボランティア募集

風の子会では、ボランティアを募集しております。  
お手伝いしていただける方は、風の子会までお問い合わせくだされば幸いです。

風の子会メンバー一同

TEL：03-3474-9674

MAIL：kazenokokai@gmail.com



よろしくお願いします！



初めての方でも親切、丁寧に指導いたします！！  
まずは、御電話を！！

## 風〇〇サスペンス劇場

そして数分後、緊急車両が到着をして鹿浜中央病院へ搬送されたのである。田西君と秋川さんは現場から離れて、小野山さんが待つ自宅へ車を走らせた。その女性は、田西君と秋川さんのおかげで命に別状はなく、後日、二人はお見舞いに向かった。女性も笑顔で出迎えてくれ、感謝の気持ちを述べた。その三名で連絡を交換をするようになった。その女性の具合もすっかり良くなり、数日後田西君と秋川さんが働いている場所に来て、ボランティアとして来ることになった。

SATOSHI-TANAKA



## バリアフリーよもやま話 第59回「緊急地震速報チャイム」 岡本 明

大地震発生！「チャラン・チャラン、チャラン・チャラン、緊急地震速報です。強い揺れに注意してください」。NHK テレビからちょっと不安げなメロディーとアナウンスが流れます。これは2011年の東日本大震災のときに何回も流れ、広く知られるようになりました。

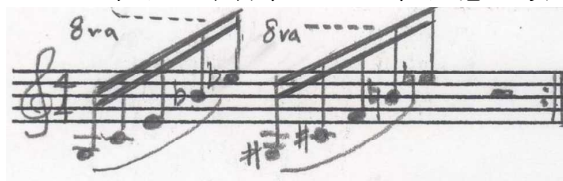
この警報チャイムのメロディーは、映画「ゴジラ」の音楽を元に作られた、という噂があります。これは間違いなのですが、実はまったく無関係というわけではありません。「ゴジラ」音楽の作曲者は日本の音楽界の大御所だった伊福部昭（いふくべ あきら）さん（1914 - 2006）です。そして警報チャイムは伊福部昭さんの甥で、東大教授だった伊福部達（いふくべ とおる）さんが作られたのです。伊福部達さんは音響学、福祉工学、医療工学の権威で、聴覚障害や視覚障害、さらには盲ろうの人のための支援機器などの研究開発で著名な方です。では、なぜ音楽家ではない伊福部達さんが警報チャイムのメロディーを作ることになったのでしょうか。

緊急地震警報音は、聴こえる人はもちろんのこと聴覚に障害のある人やお年寄りにも聴こえやすい、また注意を引きやすく、逃げなければならないという気持ちを促す、さらには必要以上の恐怖感を与えない、他の警報音とは異なる、という条件を満足する必要があります。そこでNHKは、この分野の技術に詳しい伊福部達さんに白羽の矢を立てたというわけです。2007年のことです。

伊福部達さんは、これらの条件を満足する緊急地震警報音は、それを聞いた人がすぐに何を意味するのが、どうすればいいのかなどが分かるようにする必要があると考えました。ブザーやアラーム音は鳴ったとしてもすぐにはそれが何の警報だかわかりにくいので、向かない。そこで、メロディーのあるチャイム音にすることにしました。

さて、ではどのようなメロディーにするか。は作曲家ではないので、何かほかの曲を使って作ろうと考えたのだと思いますが、いくつか候補にした曲は著作権の問題などであきらめ、叔父さんにあたる伊福部昭さんの曲を元にするということになったということです。叔父さんの曲を残したい、という希望もあったと聞きます。

上に挙げた条件、つまり、注意は引きつけるがあまり恐怖感を与えない、を満足させるために選ばれたのは伊福部昭作曲「シンフォニア・タプカーラ」という交響曲の第3楽章冒頭の和音でした。これを分解して何種類かのメロディーを作り、何人もの人に聴いてもらって評価実験を繰り返しました。そして最終的にこの



の楽譜のような、ソドミ♭シ♭ミ (GCE ♭ B ♭ E)、♯ソ♯ドファシミ (♯ G ♯ CFBE)、というチャイム音メロディーができ上がり、2009年にNHKに採用されました。なぜこのメロディーが緊急速報の条件を満たすのかという音楽理論的説明は省略しますが、興味のある方はネットなどにも出ていますので参照してください。

私事で恐縮ですが、私自身はオーケストラで伊福部昭さんの曲を何曲も演奏したことがあります。その際には伊福部昭さんは何度も練習に来てくださって指導してくださいました。また伊福部達さんとは同年代でもあり、私も福祉工学を専門としていましたので、研究室にお邪魔したり、飲みに行ったりしていました。あるとき「岡本さん、私の緊急地震速報がNHKに採用されてしまいましたよ」とメールが来て、はじめは何のことだかわからなかったのですが、ここに書いたようなことだったのです。

震災では多くの障害のある人も犠牲になりました。その緊急地震速報がこのように福祉工学の専門家の手によって作られたというのも何かの縁のように感じます。

# 虫めがね ～今、一番買いたい物～

私は下記の3つのものを買いたい。

1つ目は、家にノートパソコンとその中にオペレートナビ（福祉機器）を入れて、毎日ように使用している。それに絶対に必要なプリンターとFAXが一体型になっていて勿論コピーも出来る様なものが欲しい。

2つ目は、私の部屋のテレビは録画機能が付いてないので、MDプレーヤーを買って見たい番組を録画したりDVDを借りてきたりして後でゆっくり見たい。

3つ目は、今の車椅子は20年前に造ったもので、新しい車椅子はどの様にしようかな？！とイメージがわからないと言うか、私に似合ったものはどれか？なかなか良い車椅子はどれかを考えているうちに時間が経ってしまい、今年こそは車椅子を造りたいと思っている。

YUKI



世間を渡ってく能力を買いたいです。なぜかと言うと今後のスキルや私の糧にして世の中で世渡り上手になりたいからです。

その方が、自分にとってプラスに働くからです。

私のいけないところは調子に乗って饒舌になるところです。

塚田 愛基

「僕が買いたい物」それは、車イスです。今使用をしているのは、十年ほど前に購入をして二台目です。初代の車イスは、高校を卒業する時に購入をしました。僕が使用してる車イスは、アクセス・インターナショナルという業者で、毎年東京ビックサイトで行われている、国際福祉器機店に展示をしており、アメリカ製で社長は元ファッションモデルをしてご活躍をされていた方で、格好いい車イスを考案して会社を立ち上げたそうです。メンテナンスもしてくれていますが、七年以上利用しているのですが、今までと同じ業者で良いので、そろそろ買い替えたいないあと思います。

田中 聡



## 恵司のつぶやき

ウンエイ委員会のないよう知りました。

おかまもとさん根のみがどあり

# メンバーのつぶやき

あれから2年が経った。今年の今頃は、桜を見るとどうしても思い出してしまって心が痛くなった。だから桜を見るのが辛かった。今年は昨年と比べれば桜を見ることにそれほど抵抗感はないだろう。辛い記憶は、時の経過と共に薄らいでいく。辛いことも、楽しかったことも、時間というものには残酷なまでに浅薄にしていく。辛いことをずっと抱えたままでは人は生きてはいけないからだ。けれど忘れてはいけない記憶も絶対にある。母と桜を見た。それは楽しかった記憶だ。そしてそれは絶対に忘れてはいけない記憶だ。それを心に深く刻んで、日々を懸命に生きていく。生きるということは結局のところそういうことなのだろう。

あれから2年が経った。4月の初め、母の3回忌が催される。

小野塚 航

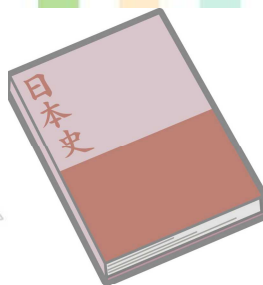
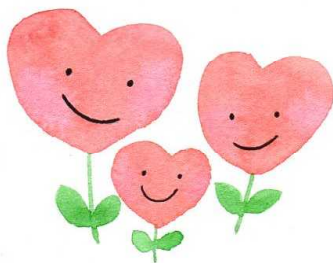
今僕が気になっていること、森友学園の籠池氏による証人喚問や、石原慎太郎氏による百条委員会などが議論していますが、もっと他にもやらなければいけないことがあると思います。とくに障害者福祉が、後まわしになっていると思います。ですから、障害者福祉をしっかり議論していただきたい。そして、僕たちがもっと住みやすくしてほしいです。

田中 聡



今本を読んでいます。題名は、「東京「駅名の謎」」（江戸の歴史が見えてくる）～祥伝社刊です。麻布十番の駅名の由来とか九段下の駅名の由来等、各駅名の由来が書かれた本で史実が好きな僕としては、とてもためになる本でした。

三木 直人



## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

幸森松田小太  
本村野田  
塚  
高杉恵亮 圭  
史 司彦航子

和柳三塚田太  
栗川木田中田  
頭  
太敬直愛  
郎事人基聡穂

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>  
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砦6-26-21

